

規律ある仲間づくりに向けた取組を柱とした活動プラン

時期	形態	主題	内 容	備 考
事前	学活	宿泊行事に向けた話し合い	・ 行事目標の決定・確認	宿泊行事に対して、児童がどのような思いで臨みたいのかについて具体的な言葉で表現することで、行事目標を決めただけで終わらないような積極的な参加を促す 完成した行事目標や自分の目標を示しながら、これからの宿泊行事に期待を持たせて終える 全員が気持ちよく過ごすためのルールを意識させ、決まりを守る意味や大切さを実感させることで自然にルールを守る雰囲気醸成する 「もしもの世界」の共通点について考え、みんなが安全・安心に宿泊行事を過ごすために自分ができることを考えさせる 授業1、授業2を振り返らせながら、宿泊行事の目標やそれに対する自分の目標、学級で決めたルールを意識させる 宿泊行事で校外の人にお世話になったり、他校の児童と一緒に活動したりするために自分の思いを適切に伝える伝え方について学ぶ ロールプレイの内容を授業2「もしもの世界」で起こり得る場面を想定し、場面に即した主張的な言い方を考える
	授業 1	思いを形に！自分たちの目標	・ 目標を達成するために自分がやることを考える ・ みんなにしてほしいことを考えることで、みんなで楽しむためのルールをつくる (自治集団、仲間づくり・絆づくり、コミュニケーション能力)	
	授業 2	もしもの世界は良い世界？	・ ルールを守らなくても良い世界を考える ・ みんなが安全で安心に宿泊行事を成功させるために決まりを守る意識 ・ 宿泊行事を「もしもの世界」にしないために、自分が気をつけることを考えさせる (規律性・道徳性、自治集団、思いやり・他者理解)	
	学活	宿泊行事に向けた話し合い (バス座席、グループ、係など)	・ 話し合いで決める実践	
	授業 3	適切な表現方法	・ アサーションの理解と体験 ・ 相手の思いを理解した上で、自分の思いを適切に伝える大切さ (思いや考えの表現力、コミュニケーション能力、思いやり・他者理解)	
当日	宿泊行事	(個別・集団指導)	・ これまでの授業の目的を引用して指導に当たる (例) 今の皆さんは「もしもの世界」の住人になっていないか？	みんなが安全・安心に過ごすためのルールを意識させ、思いを適切に伝える方法を用いながら目標の達成への声かけをする 自分をより深く知ってもらい、相手をより深く知るために自己紹介をする
	授業 4	自分の木	・ ペアになり自分の木を紹介し合う (自尊感情・自己効力感、思いやり・他者理解)	
事後	授業 5	友だちの良いところ探し	・ 宿泊行事で発見した自他の良いところを話す ・ お互いの頑張りを認め合う (思いやり・他者理解、自尊感情・自己効力感)	宿泊行事の目標や自分の目標に対する自己の振り返りを十分にさせる 宿泊行事という場限定することで具体的に良いところを書かせる

(授業の概要)

番号	授業名	授業の概要	主な資料等
授業 1	思いを形に！自分たちの目標	①目標を達成するために自分ができることを考える ②目標実現のためにみんなにしてほしいことを考える ③みんなにしてほしいことを話し合い、ルールを決める ④自分の目標を掲示する	<ワークシート> ①自分の目標 ②みんなで守るルール
授業 2	もしもの世界は良い世界？	①宿泊行事を成功するために決めたルールを確認する ②確認したルールと真逆の世界をイメージする ③ルールを守らない「もしもの世界」を話し合う ④クラス内で発表し合う	<ワークシート> ①嬉しかったり楽になったりすること ②つらかったり困ったりすること ③どんなことが起こるか
授業 3	適切な表現方法	①「イライラさん」「モゾモゾさん」「さわやかさん」の言い方を学ぶ ②3つの言い方でロールプレイを行う ③お互いが気持ちの良い表現方法を考える	<ワークシート> ①3つの話し方 ②ロールプレイ 1 ③ロールプレイ 2
授業 4	自分の木	①五感を研ぎ澄まし気持ちを落ち着かせる ②「自分の木」を見つけ、ワークシートに記入する ③ペアになりお互いの「自分の木」を紹介する	<ワークシート> ①「自分の木」だと思った理由 ②「自分の木」はどんな木か
授業 5	友だちの良いところ探し	①「良いところカード」に友だちの良いところを記入する ②相手に「良いところカード」の内容を伝える ③相手や自分の良いところを踏まえて宿泊行事の感想を書く	<良いところカード> テーマ「宿泊行事で実感した友だちの良いところ」